

事業所名称(事業所番号): 長浜メディケアセンター(2550380014) TEL 0749-65-2011

提供サービス名:通所リハビリテーション

評価年月日: 令和 2年 3月 31日

## 評価結果整理表(通所系サービス)

### ○共通評価項目

<b>I 福祉サービスの基本方針と組織</b>		
<b>1 理念・基本方針</b>		
(1)理念、基本方針が確立・周知されている。		着眼点でのチェック数
①	a 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	6 項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
パンフレット・ホームページ等に明示し、施設内にも掲示している。		
<b>2 経営状況の把握</b>		
(1)経営環境の変化等に適切に対応している。		
①	a 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	4 項目/4項目
②	a 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	4 項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
運営方針に基づき、サービス提供地域の動向や利用者ニーズを踏まえ事業計画を策定している。		
<b>3 事業計画の策定</b>		
(1)中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
①	a 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	4 項目/4項目
②	a 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	4 項目/4項目
(2)事業計画が適切に策定されている。		
①	a 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	5 項目/5項目
②	b 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	1 項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
法人の理念や基本方針の実現に向けた中・長期ビジョンを策定している。		

#### 4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

①	a	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	3 項目/4項目
②	a	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	5 項目/5項目

#### 総合評価・判断した理由等

サービス向上委員会を中心に自己評価に取り組んでいる。第三者評価の導入については検討を行っている。

## II 組織の運営管理

### 1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。

①	a	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	4 項目/4項目
②	a	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	4 項目/4項目

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

①	a	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	5 項目/5項目
②	a	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	4 項目/4項目

#### 総合評価・判断した理由等

管理者を中心に、施設方針を立案しサービスを提供している。

### 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

①	a	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4 項目/4項目
②	a	総合的な人事管理が行われている。	5 項目/6項目

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	a	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	8 項目/8項目
---	---	------------------------------------	----------

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	a	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	4 項目/5項目
②	a	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	4 項目/5項目
③	a	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	5 項目/5項目

(4)実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
①	a	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 5項目/5項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
中・長期経営計画や新人事制度において人材育成計画を掲げ取り組みを行っている。		
<b>3 運営の透明性の確保</b>		
(1)運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
①	b	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 3項目/5項目
②	a	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 6項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
第三者評価の受審は非実施。導入に向けた検討を行っている。		
<b>4 地域との交流、地域貢献</b>		
(1)地域との関係が適切に確保されている。		
①	a	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。 5項目/5項目
②	a	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 4項目/5項目
(2)関係機関との連携が確保されている。		
①	a	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 4項目/5項目
(3)地域の福祉向上のための取組を行っている。		
①	a	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。 5項目/5項目
②	a	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。 5項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
地域の協力やボランティア等を積極的に受入を行っている。		

<b>Ⅲ 適切な福祉サービスの実施</b>		
<b>1 利用者本位の福祉サービス</b>		
(1)利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
①	a	利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。 5項目/5項目
②	a	利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。 7項目/7項目

(2)福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
①	a	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	5項目/5項目
②	a	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	5項目/5項目
③	a	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	4項目/4項目
(3)利用者満足の向上に努めている。			
①	a	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	4項目/5項目
(4)利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
①	a	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	7項目/7項目
②	a	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	3項目/3項目
③	a	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	6項目/6項目
(5)安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
①	a	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	5項目/6項目
②	a	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	6項目/6項目
③	a	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にしている。	5項目/5項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
意見箱の設置や、相談窓口を設置し、利用者・家族等が意見しやすい環境を整備している。			
<b>2 福祉サービスの質の確保</b>			
(1)提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
①	a	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	4項目/4項目
②	a	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	4項目/4項目
(2)適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
①	a	アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	7項目/7項目
②	a	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	4項目/4項目
(3)福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
①	a	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	6項目/6項目
②	a	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	6項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
提供するサービスの標準的な実施方法が確立されている。			

## ○内容評価項目

A-1 生活支援の基本と権利擁護			
(1)生活支援の基本			
①	a	利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	6項目/6項目
②	a	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	5項目/7項目
(2)権利擁護			
①	a	利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	5項目/6項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
個々の状況をアセスメントし一人ひとりに合わせた支援が行われている。			
A-2 環境の整備			
(1)利用者の快適性への配慮			
①	a	福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	3項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>			
日々環境整備に努め快適な生活環境の提供に努めている。			
A-3 生活支援			
(1)利用者の状況に応じた支援			
①	a	入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	6項目/10項目
②	a	排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	8項目/10項目
③	a	移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	5項目/9項目
(2)食生活			
①	a	食事をおいしく食べられるよう工夫している。	1項目/3項目
②	a	食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	6項目/8項目
③	a	利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	7項目/7項目
(3)褥瘡発生予防・ケア			
①	a	褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	5項目/6項目
(4)介護職員等による喀痰吸引・経管栄養			
①	a	介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	5項目/5項目

<b>(5)機能訓練、介護予防</b>		
①	<b>a</b>	利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。 2項目/5項目
<b>(6)認知症ケア</b>		
①	<b>a</b>	認知症の状態に配慮したケアを行っている。 4項目/10項目
<b>(7)急変時の対応</b>		
①	<b>a</b>	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。 5項目/8項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
各専門職が多職種で連携し、アセスメントに基づいたサービスを提供している。		
<b>A-4 家族等との連携</b>		
<b>(1)家族等との連携</b>		
①	<b>a</b>	利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。 4項目/7項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
家族に対して細かな状態変化について報告を行う体制を構築している。		

<b>利用者の要介護状態の改善のためのサービス評価基準(滋賀県独自項目)</b>		
(1)	<b>a</b>	運動器の機能向上に資する取組を計画的・組織的に行っている。 7項目/7項目
(2)	<b>a</b>	日常的な介護サービスにおいて要介護状態の改善に資する取組を行っている。 4項目/4項目
<b>総合評価・判断した理由等</b>		
在宅生活の継続に向けた計画を立案し、リハビリテーションを実施している。		

事業所名称(事業所番号):長浜メディケアセンター (2550380014)TEL 0749-65-2011  
 提供サービス名:通所リハビリテーション

評価年月日: 令和 2年 3月 31日

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、達成度評価

評価年月日: 令和2年 3月31日

前回評価年月日: 令和1年10月30日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ~○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先順位	内 容				
C-2-1	1	言葉づかい、対応を適切にする	平成31年4月 ~ 令和2年3月	日々の接遇や声かけについて振り返りを行うとともに、会議や委員会開催時に接遇に対して注意喚起することで、常に高い意識をもち利用者、家族と関わりをもち、不適切な接遇予防に努める。	<一部達成> 接遇研修実施や、職員間で注意し合える関係構築に努めた。	
B-3-3	2	サービス提供終了後に想定される生活への援助	平成31年4月 ~ 令和2年3月	通所リハビリテーション終了後、総合事業への移行ができるように計画的な利用と説明を居宅ケアマネジャーや利用者を利用中より働きかけを行なう。	<一部達成> 通所継続判定会議において、利用者の方向性を定期的に協議し、一部利用者の卒業に繋げることが出来た。	

事業所名称(事業所番号):長浜メディケアセンター(2550380014)TEL 0749-65-2011

提供サービス名:通所リハビリテーション

計画年月日:令和 2年 3月 31日

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、達成度評価の計画

計 画 年 月 日: 令 和 2 年 3 月 3 1 日

前 回 評 価 年 月 日:      年      月      日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月 ～○年○月ま で)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先順位	内 容				
A-3-(6)	1	認知症の状態に配慮したケアを行っている。	令和2年4月 ～ 令和3年3月	認知症を有する利用者の認知機能や生活環境等を踏まえ、応用的動作能力や社会適用能力を最大限に活かしながら生活機能を改善するため、医師と連携し、認知症短期集中リハビリテーション実施加算の算定に努める。		R3.3
Ⅲ-1-(5) ②	2	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	令和2年4月 ～ 令和3年3月	定期的に感染症の予防や安全確保に関する研修を行う。地域における感染情報の収集や、国・県からの情報収集を行い適切な取組みを行う。		R3.3
Ⅲ-2-(3) ①	3	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有されている。	令和2年4月 ～ 令和3年3月	電子カルテを有効に活用し、情報の共有に努める。定期的に記録の確認を行い、入力ミス等の不備について管理していく。		R3.3